

年表（私家版）：「若き美空ひばりの歌声」：「越後獅子の唄」から「柔」まで

嶋田，洋一郎
九州大学大学院比較社会文化研究院：名誉教授

<https://hdl.handle.net/2324/7391059>

出版情報：2025-10-28. Kyushu University
バージョン：
権利関係：



年表 4：『美空ひばり』作曲家・作詞家（生年順）									
人名（作曲・作詞）（生年月）	提供曲（右から録音順）	（10曲まで）	◎は10曲以上の提供者						
山田耕筰（作曲）（1886. 6.）	山の小駅	風が泣いてる							
深尾須磨子（作詞）（1888. 11）	あまんじゃくの歌	旅路のはて							
◎西條八十（作詞）（1892. 1.）	越後獅子の唄	あきれたブギ	角兵衛獅子の唄	京の春雨	いで湯の灯	牛若丸	涙の白桔梗	旅の角兵衛獅子	みなし子の夢
千 嘉代子（作詞）（1897. 10）	京小唄	母を慕いて							悲しい小鳩
◎藤浦 洸（作詞）（1898. 9.）	河童ブギウギ	悲しみ口笛	白百合の歌	橋のたもとで	東京キッド	浮世船路	私は街の子	ひばりの花売娘	銀ブラ娘
宮本吉次（作詞）（1900. 3）	山の小駅	風が泣いてる							泥んこブギ
三界 鈴（作曲）（1901. 2）	タヤけ峠								
山口保治（作曲）（1901. 10）	越後獅子	娘道成寺							
仁木他喜雄（作曲）（1901. 11）	涙の紅バラ	夜霧ふたたび							
奥野徳子夫（作詞）（1902）	涙の紅バラ	夜霧ふたたび							
奥山 露（作詞）1902()	私のスカートホーム	グッド・バイ							
サトウ ハチロー（作詞）（1903. 5.）	ほんととかしらほんととかしら	わが母の姿は	母さんと母さんの声がある	黒い微笑					
浅井幸雄（作曲）（1904-）	河童ブギウギ	拳銃ブギー							
高木東六（作曲）（1904. 7.）	あまんじゃくの歌	旅路のはて							
◎古賀政男（作曲）（1904. 11.）	娘船頭さん	あやめ踊り	わたしゃ糸屋の器量よし	娘木遣くずし	恋の曾根崎	お染久松	おぼこ吹雪	ジンタ恋しや	青春の恋人たち
◎野村俊夫（作詞）（1904. 11.）	裏町パラダイス	ちゃっかり節	誰か忘れん	若い歌声	悲しきおもかげ	八百屋お七	恋の折鶴	スッチョン節	むすめ島唄
◎万城目正（作曲）（1905. 1）	悲しき口笛	青空天使	ひばりが唄えば	白百合の歌	橋のたもとで	東京キッド	浮世船路	ちゃっかり節	誰か忘れん
久保田亨（作詞）（生年未詳）	裏町のカナリヤ								越後獅子の唄
横井禅一（作詞）（生年未詳）	街角の風船屋								
平川英夫（作曲）（1906）	裏町パラダイス								
門田ゆたか（作詞）（1907. 1）	私のボーイフレンド	青空天使	ひばりが唄えば	陽気なボンボン売り	私は街のメッセンジャー	みなし子の唄			
竹岡信幸（作曲）（1907. 7）	香港セレナデ								
服部良一（作曲）（1907. 10.）	銀ブラ娘								
菊田一夫（作詞）（1908. 3）	あの丘越えて	街に灯がとぼる頃							
藤田まさと（作詞）（1908. 5.）	煩寄せて	涙	ある女の詩	花と朧	風の子守唄	男	おんな		
古関祐而（作曲）（1909. 8.）	スッチョン節	むすめ島唄	我が家の灯	花売馬車	新しい笛				
名古屋宏（作詞）（生年未詳）	拳銃ブギー								
松坂直美（作詞）（1910）	楽しい日曜日								
和田隆夫（作詞）（1911. 12）	陽気な渡り鳥	涙のはぐれ鳥	月形半平太の唄	紙園夜曲	バイ・バイ・ハワイ	歌がはづめば	乙女ごろの唄	娘とリボン	
小沢不二夫（作詞）（1912. 6）	リンゴ追分								
◎米山正夫（作曲・作詞）（1912. 10）	ピアノとヴァイオリン	父に捧ぐる唄	リンゴ追分	リンゴ園の少女	こだまは歌うよ	晩香玉の花咲く宵	ひとりぼっちのクリスマス	馬っご先生	津軽のふるさと
森繁久彌（作曲・作詞）（1913. 5）	嗚呼舟がくし								小さな水溜り
加藤省吾（作詞）（1914. 7.）	越後獅子	娘道成寺							
馬渡誠一（作曲）（1914. 10）	私のスカートホーム	グッド・バイ							
◎上原げんと（作曲）（1914. 12.）	私は街の子	ひばりの花売娘	京小唄	母を慕いて	いで湯の灯	牛若丸	涙の白桔梗	流れのギター姉妹	私の誕生日
◎原 六朗（作曲・作詞）（1915. 1）	私のボーイフレンド	陽気なボンボン売り	私は街のメッセンジャー	お祭りマンボ	月の親馬車	チューチューマンボ	バラ色の船	バラ色の乙女たち	すずらん峠
木下忠司（作曲・作詞）（1916. 4）	誰でしょう	伊豆の踊り子	お針娘ミミーの日曜日	いでの里	お針娘ミミーの日曜日	ひばりの冒険			雨に寄せて
丘 灯至夫（作詞）（1917. 2.）	けたぐり音頭	むすめ旅唄	女の詩	恋のれん					
松尾健司（作曲）（生年未詳）	可愛いティティナ	たゞ何となく	エスキモーの娘	灰色のワルツ					
◎西沢 実（作詞）（1919. 1.）	あの日の船はもう来ない	さすらいの雨	わたしゃ糸屋の器量よし	娘木遣くずし	港は別れてゆくところ	波止場だよ、お父つあん	おぼこ吹雪	ジンタ恋しや	青春の恋人たち
川内康範（作詞）（1920. 2.）	熱褲（いのり）	夜明けまで	花と炎	おんな道					
塚原哲夫（作詞）（1921. 1. 3）	ほんととかしらほんととかしら	わが母の姿は	母さんと母さんの声がある						
◎関沢新一（作詞）（1921. 6.）	ほんとの三度笠	花の投げ船	明日は日本晴れ	尾張の馬子唄	女ざむらい只今参上	男はどうして威張るのか	さよならドドンパ	笑顔と涙の遠い道	柔
宅島徳光（作詞）（1921）	白い點章								柔の男
そでさきしゅう（作詞）（生年未詳）	会う								
能勢英男（作詞）（1923. 9）	哀愁の灯	雨のナイトクラブ							
◎石本美由起（作詞）（1924. 2.）	星影の愁い	ひばりのマドロスさん	さよなら波止場	花のオランダ船	母恋い扇	明玉夕玉	珠姫物語	花かるたいろは道中	波の子守唄
松山善三（作詞）（1925. 4）	一本の鉛筆	八月五日の夜だった							お夏清十郎
山本丈晴（作曲）（1925. 5.）	風雪三代	港のむせび泣き	芸道一代	魂	どこい俺がいる	一匹道中	恋のれん		
◎星野哲郎（作詞）（1925. 9.）	浜っ子マドロス	みなな踊り	北風の港町	若い海若い船	ヨコハマ物語	ふるさとと港	東京ラテン十八番街	瀬戸の通い船	哀愁出船
◎三浦康照（作詞）（1926）	銀座四丁目	故郷のないつばめさん	お久し振りネ マドロスさん	港は心のふるさと	のれん一代	風雪三代	港のむせび泣き	雨にぬれても	ひばりの子守唄
木村おゑる（作詞）（1926. 7）	昭和おんな唄								
横井 弘（作詞）（1926. 10.）	どこい俺がいる	恋のわらべ唄	新宿波止場	酔いどれ子守唄	俺達の歌今どこに				
原 信夫（作曲）（1926. 11.）	笑顔と涙の遠い道	ひばり音頭	雨にぬれても	二人だけの渚	真つ赤な太陽	むらさきの夜明け	星空の微笑み		
◎猪林正一（作詞）（1927）	さよならドドンパ	ひばりの渡り鳥だよ	旅唄さんげ	花の都をあきらめて	ひばりのツイスト	ブルー・ツイスト	星影の浜辺	チュッチュツチュウの浜辺	ブラウスとワイシャツの恋
佐藤 勝（作曲）（1928. 5）	一本の鉛筆	八月五日の夜だった							ひばりの観音経

[illegible]

井上忠夫（作曲）（1941.9）	太陽と私									
さいとう大三（作詞）（生年未詳）	裏町酒場	時雨の宿								
神宮寺聖（作曲）（生年未詳）	昭和ながれ花									
木末野奈（作詞）（生年未詳）	別れの宿									
芦原みずほ（作詞）（生年未詳）	浮き草ふたり									
やしろよう（作詞）（生年未詳）	人生吹きだまり									
小椋 佳（歌手）（1944.1.）	函館山から	風花便り	太鼓	爰燦燦						
三木たかし（作曲）（1945.1）	さくらの唄	おんな酒								
村井邦彦（作曲）（1945.3）	旅人									
浜 圭介（作曲）（1946.4.）	酔いどれ子守唄	ひとり旅	おんな	霧の東京	人生松竹梅					
岡林信康（作曲・作詞）（1946.7.）	月の夜汽車	風の流れに								
弦 哲也（作曲）（1947.9.）	残佚子守唄									
東生えつ子（作詞）（1948.3.）	笑ってよムーンライト	まなざしの彼方	ビロードの夜							
徳久広司（作曲）（1948.4）	おまえに惚れた	恋女房	人恋酒	おんなの涙						
ちあき哲也（作詞）（1948.6）	みれん酒									
杉本眞人（作曲）（1949.4）	なつかしい場面	みれん酒	昭和ひとり旅							
東生たかお（作曲）（1950.11）	笑ってよムーンライト	まなざしの彼方								
イルカ（作曲）（1950.12.）	夢ひとり	ビロードの夜								
岡 千秋（作曲）（1950.12）	恋港	美幌峠								
麻生香太郎（作詞）（1952.10）	昭和ひとり旅									
見岳 章（作曲）（1956.10）	川の流れのように	あきれたね								
秋元 康（作詞）（1958.5.）	川の流れのように	あきれたね								